

2021年9月1日

株式会社 JDSC

## JDSC、Google Cloud Service パートナー認定を取得

～Google Cloud™ を活用したデータ基盤「Wodom!」で、データドリブン経営の支援を加速～

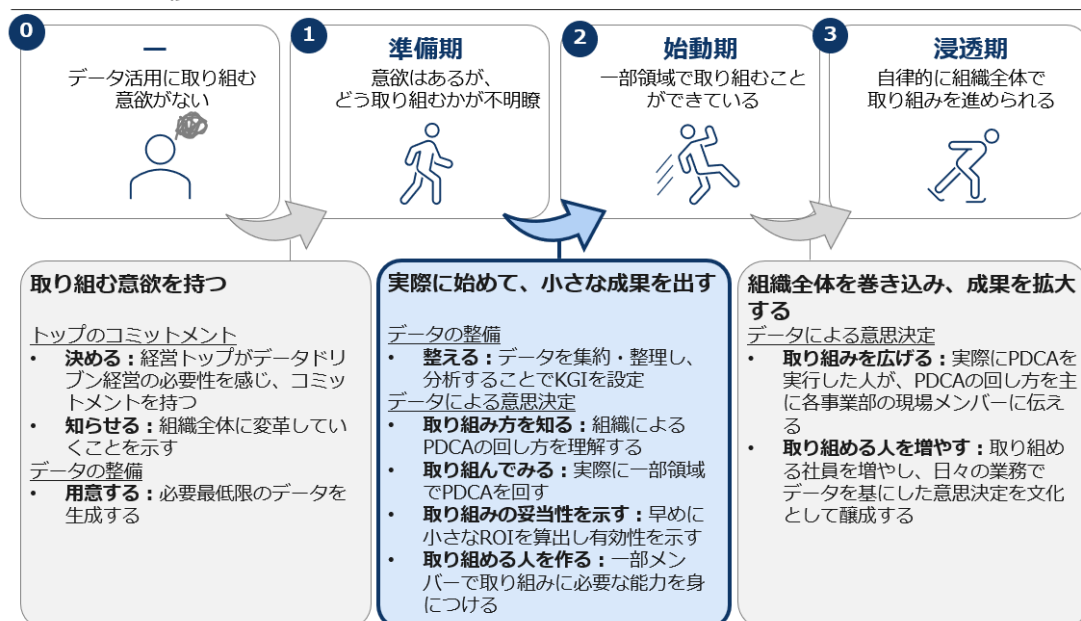
UPGRADE JAPAN をミッションとして掲げる東大発 AI 企業の株式会社 JDSC(本社：東京都文京区、代表取締役：加藤エルテス聡志、以下「JDSC」) は、Google Cloud Partner Advantage プログラムにおいて、Service パートナー認定を取得いたしました。これにより、Google Cloud を活用した JDSC のデータ基盤「Wodom! (うおどむ!)」の提供を通して、データドリブン経営の支援を加速して参ります。



### ■JDSC の「Wodom!」の提供価値

データ時代にふさわしい生産性を持つ企業にアップグレードするためには、データを基に、精度の高い意思決定をし、事業を発展させるデータドリブン経営が必要です。その実現までには、大きく分けて、3つのステップがあり、それは①トップのコミットメントから始まる「準備期」、②データの整備がされ、一部組織がデータによる意思決定ができるようになる「始動期」、③自律的に全組織がデータによる意思決定ができる「浸透期」です。

各ステップに移行するために必要なポイント





報道関係者各位

2021年9月1日

株式会社 JDSC

最も重要なポイントは「準備期」から「始動期」への移行であり、ここでは「実際に初めて、小さな成果を出す」ことが変革の実現に向け、必要とされます。

JDSCは、データ基盤「Wodom!」の導入の際に、データ基盤導入だけでなく、「実際に初めて、小さな成果を出す」ために必要な下地とルールを整備して、第一歩を促す支援を行っております。この度のGoogle Cloud Service パートナー認定の取得により、データ基盤「Wodom!」の提供を通して、データドリブン経営の支援を加速して参ります。

#### ■Google Cloud Partner Advantage プログラム詳細

<https://cloud.google.com/partners?hl=ja>

※Google Cloud は Google LLC の商標です。

#### ■ 株式会社 JDSC について

JDSCは、物流最適化や需要予測、教育など、基幹産業を中心とした幅広い分野で、アルゴリズムモジュールの開発とライセンス提供事業、IT システムの開発と運用事業、データサイエンスに関する顧問・コンサルティング事業を行っており、日本の産業のアップグレードを目指しています。AI を用いた電力データ活用に関しては複数の特許を取得しており、社会実装に向け、開発を進めています。

#### [本プレスリリースに関するお問合せ先]

株式会社 JDSC (<https://jdsc.ai/>) 担当 広報 [info@jdsc.ai](mailto:info@jdsc.ai)